

昭和十二年十月十五日

戦闘詳報 第三(八月十六日)

第一聯合航空隊

0155

八月十六日 揚州、句容、蘇州攻撃

一、形勢

(一) 十六日〇一一五3F長官ヨリ左記命令ニ接ス

(イ) 敵情

(1) 敵飛行機ハ蘇州及嘉興ニ集結セリトノ報アリ

(2) 敵大規模攻撃機四今夕龍華又ハ虹橋飛行場ニ着陸セル疑アリ

(3) 上海附近各地ニ敵飛行機分散セリ

(ロ) 第三空襲部隊ハ成可ク速ニ前進左記ニ依リ爆撃ヲ決行スベシ

木更津部隊 南京 鹿屋部隊 句容、揚州

(二) 〇二〇〇左記命令ヲ發ス

本十六日成可ク速ニ木更津部隊ハ南京ヲ鹿屋部隊ハ句容、揚州航空基地ヲ爆撃スベシ

二、其ノ他

各部隊報告ノ通

三、功 績

鹿屋部隊ガ惡天候ヲ冒シ有クナル敵空軍根據地ノ強襲ヲ敢行シ多大ノ成果ヲ擧ゲ我友軍作戰ニ資セシ處極メテ大ニシテ其ノ武功拔群ナリト認ム

四、所 見

十四日、十五日及本日ノ空襲ニ於テ我機ノ大ナリシハ不良ナル天候（雲高極メテ低ク高度五〇〇米以下ノ暴撃ヲ敢テセルモノアリ）ヲ冒シ警戒至嚴ナル空軍根據地ヲ強襲セシニ依ルモノト認ム
當時上海方面ノ情勢ハ窮迫シ我空襲部隊ノ強襲ハ絶對必要ト判断シ恰モ往年二〇三高地ノ強襲ニモ等シキ心境ヲ以テ新種作戦ヲ敢行セリ

(一〇)

一、鹿屋部隊

(一) 臺北部隊中甸容空襲隊六機ハ〇七四〇砂州空襲隊六機ハ一八機豫
 定ノ處二機發動機不調ノ爲途中ヨリ引返ス一〇五〇頃甸容ヲ一
 二三〇頃揚州ヲ爆撃シ一六三〇迄ニ臺北ニ八機一五三〇濟州島ニ
 一機歸着ス

(二) 成 果

(イ) 甸 容

庫外飛行機全部 (戦闘機十二、三) 爆破戦闘機十一撃墜 (交戦
 機數約二〇)

(ロ) 揚 州

庫外飛行機全部 (大型爆撃機三、小型機六) 爆破戦闘機二撃墜
 (交戦機數約五)

(三) 被害

句容及揚州ニ於テ各一機墜落セシ事確實一機ハ空襲後消息不明重傷一

(四) 殘存(使用可能)機數 一〇

二、木更津部隊

(一) 一般

午後五時九機濟州島發シタルモ南京方面天候不良ノ爲攻撃目標ヲ蘇州ニ變更天候良好ナラズ斷雲アリ敵航空基地ヲ攻撃シテ午後十一時三十分六機濟州島ニ歸着ス三機ハ歸途機位ヲ失ス内二機ハ十七日午前一時四十分大村着一ハ同地ニ向ケ飛行中(午前三時)

(二) 成果

飛行場ニハ顯著ナル目標ナク小ナル燃料庫ラシキモノ一大型爆撃機一ヲ概ネ各中隊番號順序ニ之ヲ爆撃一ニ損害ヲ與ヘタルモノト認ム投下弾數二五〇珽一八

(三) 被害ナシ

(四) 十七日午前使用可能飛行機八

追加

中攻三機ハ蘇州飛行場ヲ搜索中蘇州市内ヨリ高角砲機銃ノ猛射ヲ受ケタル爲午後八時五分同砲臺ヲ爆撃(二五〇発)五個投下我ノ損害一機左五番タンク機銃弾ニテ貫通サル

(終)

0160

附録二

主要電報發受信誌寫

月日	着信者	發信者	送受時刻	信文
八月六日	一聯空司令官 (鹿屋司令)	三艦隊長官	〇二二〇	三艦隊長官密電第六八番電 十五日二二三〇 第三空襲隊ハ成上可ク速ニ發進左記ニ依リ 爆撃ヲ夫行スベシ
	水空司令部	水空司令部	一九二六	水空機密第五十六番電 十六日 一七〇〇 句容爆撃者、談ニ依リハ句容ヨリ四雲高三百視
	三艦隊長官 (連名)	一聯空司令官	一〇五〇	一聯空機密第二二六番電 十六日 〇九〇〇 台北部隊飛行機隊十四機(六機ハ句容ニ着陸シテ) ハ機揚州ニハ四〇)發進
	水空司令部 (其池)	一聯空司令官	〇三九	本十六日可成速ニ本更津部隊ハ南京ヲ鹿屋 部隊ハ句容揚州航空基地ヲ爆撃スベシ
				水空部隊 南京
				麻空部隊 句容 揚州

